

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名	県営農村地域防災減災(ため池補強)		路河川名等	—	
事業毎の通番	5	市町村名	塩尻市	箇所名(ふりがな)	小坂田池(おさかだいけ)
事業目的	近年、大規模な地震が頻発しており、今後も多くの災害の発生が危惧されている。本地区のため池について、老朽化が進行していることや耐震性が不明であったことから、平成27年度に耐震性調査を実施したところ、堤体下流の法面で、地震時に必要な耐震性を有していないことが判明した。 このため、早急のため池の耐震補強を行い、災害の未然防止による、地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることを目的とする。				
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)	事業実施の根拠法令等	土地改良法		
関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県強靱化計画、長野県地域防災計画				
保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象：農地65ha、人家40戸、公共施設(国道、市道、JR中央本線、塩尻東地区センター、塩尻東公民館) 受益対象：かんがい農地45ha				
着手年度	平成30年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.1		国庫 74,250 其他 14,850 県債 41,000 一般財源 4,900
全体事業内容(主な工種)	ため池工 N=1箇所(堤体補強 L=64m(下流))		135,000		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物生産効果(干ばつ被害による減産が防止できる) 災害防止効果(ため池の決壊による農地、農業用施設、農作物、人家、公共施設等への被害を防止できる)			
	間接的効果(定量的・定性的)	優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。 ため池の周辺景観が保全され、小坂田公園と一体的な観光資源となる。			
評価の視点	必要性	○ 保全対象の人家戸数：40戸 ○ 保全対象の公共施設数：塩尻東地区センター、塩尻東公民館など ○ 保全対象の農地、農業用施設：農地 65ha ○ 保全対象の避難路等：有(重要施設 国道153号、JR中央本線)	評価	A	
	重要性	○ ため池依存度：依存度 中 ○ ため池受益面積：かんがい面積 45ha ○ 地域防災計画上の位置づけ：県、塩尻市の地域防災計画に位置付け	評価	B	
	効率性	○ 費用便益比(B/C)：2.1 ○ 事業期間：3年間(H30～H32) ○ 工法等の比較検討：耐震工法の比較検討を実施	評価	A	
	緊急性	○ 危険度調査結果：平成27年度に実施した耐震性調査の結果、耐震性を有していない ○ 過去の被災履歴：被災なし ○ 応急対策の実施状況：低下管理を実施	評価	A	
	計画熟度	○ 事業情報の共有：H28.5 水利組合および関係地区住民に説明会を実施 ○ 地域の取り組み：H28.10 市から要望あり ○ 地域の合意形成：H28.5他 合意形成が図られている ○ 住民との協働：水利組合で維持管理を行っている	評価	B	
所管課意見	災害発生時の下流域への被害が甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な対策工事が必要である。	採択状況	○	総合評価 A	
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。				

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

事業概要説明図表

凡例

計画ため池	
ため池受益地	
被害区域	

【整備の必要性がわかる状況写真等】

① ため池全景

② 堤体(下流)

③ 下流域状況

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本ため池の築造年は不明であるが、昭和61年度に県営ため池等整備事業により、堤体、取水施設及び余水吐の改修が行われているが、これまで地震時の耐震性の点検は行っていない。このため、平成27年度に堤体の耐震性点検を行ったところ、地震時において堤体下流法面の安定性が確保されていないことが判明したため、耐震対策を実施し、下流域の安全対策を図る。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成27年度に実施した耐震性点検の結果を受け、塩尻市より地元関係土地改良区、関係地区住民へ説明を行い、塩尻市より耐震対策の実施要望があった。また、耐震対策が実施されるまで、地元水利組合の管理によりため池の水位を低下し応急対策を行っている。
③事業説明等の経緯	・H28.5.25に塩尻東土地改良区理事会にて耐震性点検の結果を説明 ・H28.7.27・11.16に塩尻東地区の区長会へ耐震性点検の結果及び今後の対応を説明 ・H28.11.30に塩尻東地区の土地改良区役員会にて区長会への説明状況を説明 ・H30.1.30に塩尻東地区の土地改良区役員会にて事業概要及び実施工程予定を説明
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県強靱化計画等に基づき、ため池の耐震補強を行うことで、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区ため池の下流域には、農地の他に宅地が多数存在する。また、国道153号等の公共交通機関が存在するため、決壊時の被害は甚大である。 小坂田公園に隣接し宅地も多いことから、現状の景観維持に向けた配慮をするとともに、工事において、重機械の振動・騒音・排出ガス対策として、早朝及び夜間の作業を自粛し、排出ガス対策型の機械を使用する。
⑥地域活性化への影響と配慮	災害が未然に防止されることにより、優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。 また、小坂田公園に隣接する水辺空間として観光客の散策路にも利用されており、ため池や農村景観が保全されることにより、観光資源として地域の活性化につながる。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 06' 9.5"
東経:E 137° 59' 3.5"